

ながと

6号

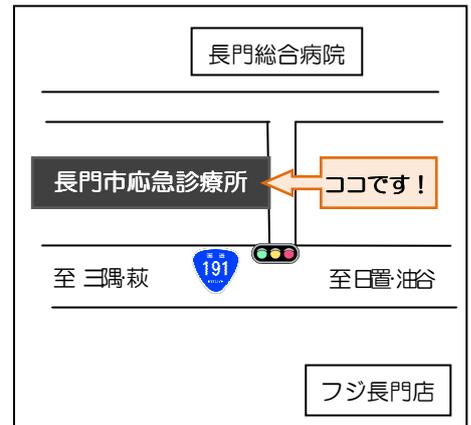
地域医療情報紙

平成25年11月1日発行
長門医療圏地域医療再生計画推進協議会
適切な医療受診啓発部会

長門市応急診療所オープン！

長門市では、安心できる医療体制の充実を図るため、長門市医師会、薬剤師会等のご協力を得て、休日や夜間の急病に対応するため、10月6日に応急診療所を開設しました。

この応急診療所は、突然の発熱や腹痛など、比較的軽症な方を対象に応急処置を行います。



・所在地 ; 長門市仙崎 198-1

・電話番号 ; 27-0199 FAX番号 ; 27-0299

◆診療科目 内科、小児科

◆診療時間 夜間(月~金)午後7時~10時(受付9時30分まで)

昼間 日曜, 祝日, 年末年始(12/30~1/3) 午前9時~12時(受付11時30分まで)

午後1時~5時(受付4時30分まで)

※ 詳しいことは長門市ホームページをご覧ください。

- ・当応急診療所は、急病患者の方の診療を目的としており、設備・薬品など限られた条件のなかで診療する応急の診療所です。
- ・あくまで応急処置を目的としていますので、投薬期間は原則として1日分です。診察を受けた翌日には、必ず「かかりつけ医」等の医療機関で十分な検査や治療を受けてください。

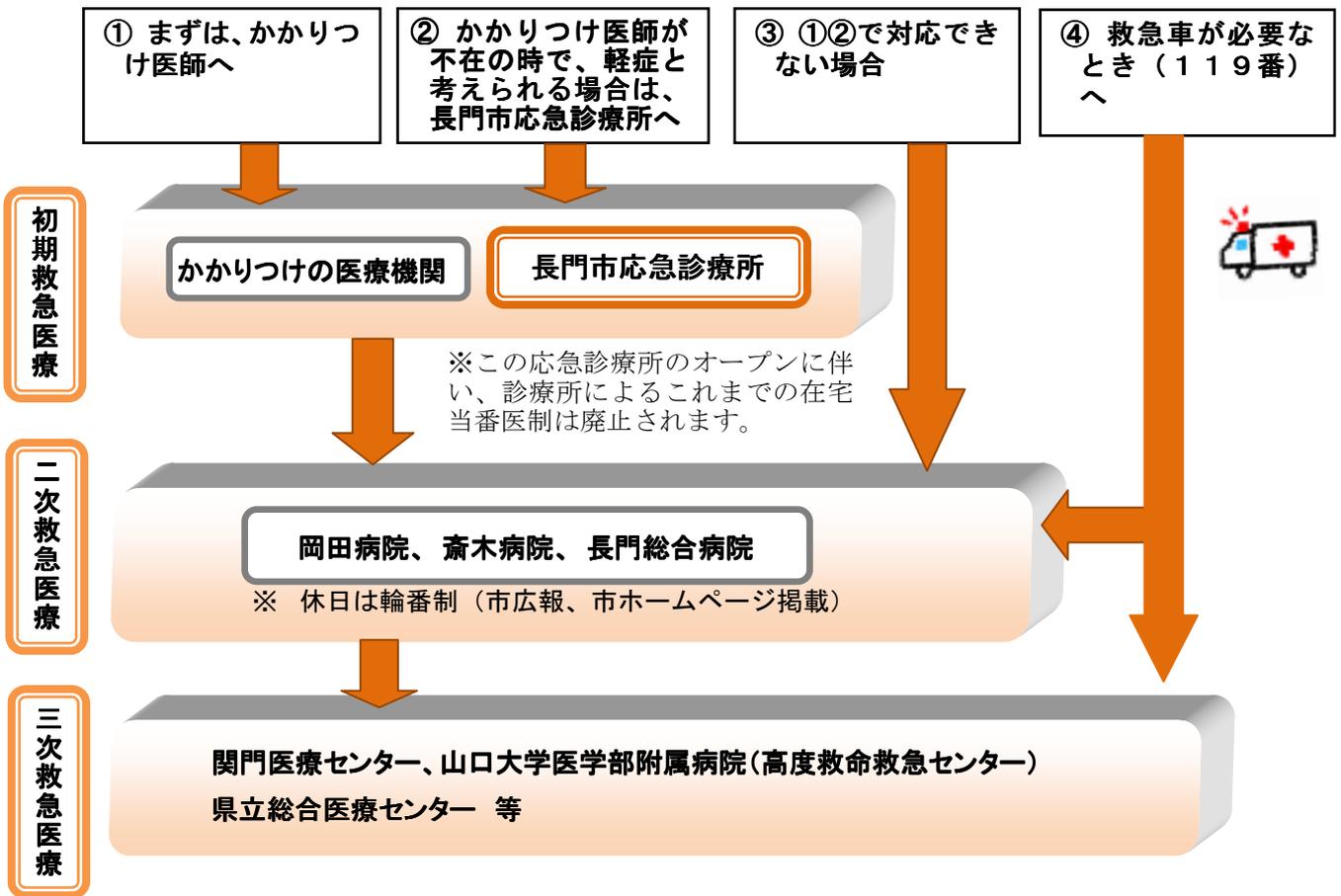
- ・救急車での搬送を必要とする患者は、この診療所では受け入れられませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。
- ・診察の結果、入院治療を必要とする重症急病患者等については、適切な二次救急病院に紹介します。

長門の救急医療のしくみ



子供の急な病気で困ったら、まず、次の電話相談へ
小児救急医療電話相談 #8000
 または、 **083-921-2755**
 相談時間 午後7時～午後11時(毎日)

簡単な救急相談は、次の電話相談へ
長門市中央消防署 22-1599
長門市西消防署 32-1599
 相談時間 24時間対応



<用語説明>

- **初期救急医療**: 比較的軽症な救急患者を受け入れるもの
- **二次救急医療**: 入院治療を必要とする救急患者を受け入れるもの
- **三次救急医療**: 二次救急医療機関では対応できない複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者を受け入れるもの

■ **かかりつけ医師とは**
 日頃からの信頼関係のもと、家族の日常的な診療や管理をしてくれる身近なお医者さんのこと

<受診時に用意するもの>

- ・健康保険証または後期高齢者医療被保険者証、受給者証
- ・普段飲んでいる薬またはお薬手帳
- ・母子健康手帳(乳幼児)



☆ 応急診療所 Q & A

問1 診療科は内科、小児科となっているが、それ以外は、診察してもらえないのか。

答 原則として診療科目は内科、小児科となります。ただし、診察される医師の専門科目であれば、初期対応ができる場合があります。

診療科目以外である場合は、事前に電話でお問い合わせいただき、どのような症状であるかをお伝えください。

問2 診療科が内科と小児科になっていますが、いつも専門の医師が診察されるのですか。

答 応急診療所の診療については、長門市医師会及び山口県立総合医療センター、山口大学附属病院の医師が交代で担当します。従って、内科、小児科専門以外の医師が診療にあたることもあります。当日勤務する担当医師については、応急診療所の院内掲示板にてお知らせすることとしておりますが、事前に確認したい場合には、電話でお問い合わせください。

問3 急病になった時、救急車を呼んで病院へ行くべきか、自家用車で応急診療所へ行くべきか判断に困る場合はどうしたらよいか。

答 救急車の利用は、意識がない等生命の危険や、悪化の恐れのある症状を呈す傷病者で、迅速に搬送する適当な手段がない場合です。

急病の症状にもよりますが、かかりつけの医療機関がある場合は、まず、かかりつけ医師へご相談ください。

かかりつけ医が不在の時、判断に迷われた場合は、長門市中央消防署（22-1599）又は長門市西消防署（32-1599）へ相談していただくか、長門市応急診療所（27-0199）へ相談してください。

なお、子供の急な病気の場合には、まず、小児救急医療電話相談（#8000 または 083-921-2755）をご利用ください。



問4 かかりつけ医師や応急診療所の診療時間外に急な発病で受診する場合は、従来通り二次救急病院に連絡をすればよいのか。

答 急な発病でお困りの時は、まずは、かかりつけ医師へ連絡してください。かかりつけ医師が不在の時やかかりつけ医師をお持ちでない場合は、二次救急医療機関に連絡し受診してください。

問5 応急診療所は救急車の受け入れはできるのですか。

答 当該診療所は、入院を伴わない初期救急医療のための診療所であるため、救急車による救急患者を受け入れることはできません。

問6 長門市応急診療所に受診したいときは、事前に電話などで連絡していかなければならないのですか。

答 特に予約の連絡は必要ありません。もし症状などで気になることがある場合には、電話でお問い合わせください。

問7 就学前の小児については無料で受診できますか。

答 長門市では、就学前までの小児については福祉医療の該当となりますので、保険適応される診療費については無料です。健康保険証及び福祉医療受給者証を忘れずにご持参ください。その他の福祉医療等医療費助成制度に該当される場合も、受給者証等を持参され受付でお出しください。

地域医療を守るための提言

⑤

夕張の地域医療再生に尽力されている 村上智彦 先生が熱く語った

村上先生の講演内容をシリーズで紹介します。



医療に対する満足度が低い日本

日本の医療って世界一だということを知っていますか。日本は平均寿命が長く、乳児死亡率は世界で最も低い。医療費は極めて安く、医療レベルは高い。WHOもカナダの保険会社も、日本は、世界一良い医療を受けていると評価しています。

ところが、国民の医療に対する満足度は世界最低なんです。ここに一番の問題があります。

僕はね、皆さんが今受けている医療が、他の国に比べたら、どんなに幸せで、どんなに恵まれているかを自覚してほしいんです。

「医療崩壊」は存在しているの？

「世界一良い医療を受けていて満足しないのは、ただの贅沢だ。日本に医療崩壊なんかない。こんな人たちに、いくら医療を充実したって満足する訳ない。」と、友達のアメリカー人の奥さんが言っていました。

日本は40兆円しか収入がないんです。毎年90兆円づつ使い、1,000兆円借金しています。自分達の20年、30年後の孫や子供たちに借金しながらやってるんです。命にかかわる何かあったらと、ぼろぼろお金を使ったらダメですよ。



村上智彦 医師

専門：地域医療/予防医療/地域包括ケア

自分の息子たちは医療を受けられなくなると思います。外国から見たらすごく贅沢なことをしているんです。

医療は、命と健康の安全を守る



医療というのは、住民の安心や満足のためにあるわけではありません。命と健康の安全を守るためにある社会保障制度です。

安全というのは、本当に命を救うために、本人が何を言おうがやらなければならないことをやるんです。安心というのは、皆さんの心の中にあるんです。安心は、医療を充実させたって無理です。皆さんが安全を守ることと安心を守ることの違いを区別し、考えることが必要です。

「何かあったら」「命にかかわる」という言葉で思考が停止しがちですが、「あれもこれも」「あったらいい」は自己負担すべきです。相互扶助の原則、お互いに助け合うんです。自分さえよければいいという発想をしていると、医療の仕組みは成り立たなくなり壊れてしまいます。

以下次号に続く(次号発行予定H26年2月1日)

この情報紙へのお問い合わせ・ご意見等がありましたら下記へお願いします。

■ 編集事務局 長門市市民福祉部健康増進課

(長門市地域医療連携支援センター内) TEL 0837-27-0255

※この情報誌の既に発行されたものは、市のホームページに掲載しております。

URL:<http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/kurashi/welfare/chiikiiryotorikumi.html>

E-Mail: kenkokikaku@city.nagato.lg.jp